

2020 年度事業報告書

自 2020年4月 1日

至 2021年3月31日

1 組織活動

(1) 定時社員総会

- ・日 時 2020年6月3日(水) 14:00~17:00
- ・会 場 オンライン (Zoom) 発信場所: 大手口センタービル 3F, MR
- ・出席数 122人 ※議決権対象 177 会員中、
オンライン参加 106 人、書面 16 人
- ・内 容 「2019 年度事業報告」「2020 年度事業計画及び収支予算」を報告し、続いて「2019 年度決算の承認」、「任期満了に伴う理事の選任」をそれぞれ審議可決した。
なお、総会後は講演(株式会社ニールズヤード レメディーズ 代表取締役 梶原健二「SDGs を成功させるための秘訣とリーダーシップ」)及び JCC 活動紹介を実施した。

(2) 理事会

理事会設置法人として、次のとおり理事会を開催した。

回	開催日	議 案
1	5 月 18 日 (月)	・ 2019 年度事業報告及び決算の承認について ・ 2020 年度定時社員総会の招集の決定について ・ 株式会社 Karatsu Style 株主総会決議事項の承認
2	6 月 3 日 (水)	・ 会長及び副会長の選定について ・ 規程類の改正について ・ 事務局長の任命について
3	9 月 23 日 (水)	・ 顧問の設置 (更新) について
4	12 月 23 日 (水)	・ つなぎ融資にかかる短期借入金について

		・就業規則の改正について
5	3月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度事業計画について ・2021年度収支予算について ・就業規則の改正について ・個人情報の保護に関する基本方針の制定について ・事務局長の任命について ・ジェネラルマネージャーの任命について

2 新市場開拓事業

(1) 海外マーケット及びサプライチェーン展開事業

JCC 会員及び地域産業の海外参入を促進するため、中国等アジア市場及びフランス等 EU 市場をターゲットとした輸出ルートの構築を図るため、テストマーケティングなどを行った。

①中国プロジェクト

中国広州市 ICAP とコロナ後を見据えた協業内容について検討、打合せを実施

②台湾プロジェクト

1) 台湾国際ビューティーショーを活用した取組

- ・11月4日、23日ウェビナー登壇

From local to global: Cosmetics and Healthcare business in Japan

※台湾ビューティーバレー、財団法人工業技術研究院 (ITRI) との連携企画
フォーラム『海外化粧品産業クラスター (台湾と日本) 間のコラボレーションとイノベーション』は新型コロナの影響により中止

2) 台湾ビューティーバレー・ITRI 連携事業

- ・2021年台湾ビューティバレー総会内のセミナー企画

3) その他

台湾企業の唐津市内への立地誘致・創業支援	1社
台湾市場への販路開拓及び輸出ルートの確立	2社

③東南アジア・中東プロジェクト

1) マレーシア

テストマーケティング、インフルエンサープロモーション (2名) 実施

期間：3月1日10時～30日21時

場所：オンライン モール「SHOPEE」及び「LAZADA」内専用サイト

オフライン ISETAN The Japan Store (クアラルンプール市) 特設

取扱商品：27アイテム (10社)

2) 東南アジア 輸出展開支援 1社 (継続中)

3) 中東 (ドバイ) 輸出 1件 (成立)

④EU プロジェクト

1) フランス国際化粧品展示会オンライン「e-COSMETIC360」への出展支援

時期：10月12日～13日

JCC ページレビュー数 194件

Webinar 配信 (JCC 椿プロジェクト) 参加 46名

会員出展企業：2社 / 会員来場：8社

2) EU 市場向けオンラインセミナーの開催：会員受講者 20名

EU レジストレーション・マーケットセミナー配信@オンライン

期間：3月1日～12日 / 参加 20名

第1部「EU化粧品規制 (レジストレーション) の最新情報」

講師 Biorius 壺井 修 氏

第2部「EU (フランス) の化粧品市場及びコロナ後の傾向」

講師 JCC 欧州デスク 谷 素子 氏

(2) 国内マーケット及びサプライチェーン展開事業

JCC 会員及び地域産業の国内の販路開拓を支援するとともに、付加価値の高いローカルブランドの創出を支援するため、オフライン及びオンラインの販路開拓支援、商品開発支援を行った。

①九州コスメ・プロジェクト：取扱商品数 319アイテム (25社)

1) オフライン 3店舗展開 (福岡県内2店舗、唐津市内1店舗)

2) オンライン プロモーションを実施

期間：2021年2月15日～3月15日

開催場所：ブランラパンサイト

(Yahoo!ショッピング店、楽天市場店、au woman 店)

3) 商品開発支援 3件 (継続中)

②ローカルブランド創出事業

経済産業省「地域企業イノベーション支援事業」の関連モデル事業の活動支援

3 産業創出事業

(1) 海外クラスター連携事業

フランス・コスメティックバレーが事務局を務める「グローバルコスメティッククラスター (GCC)」との交流・連携の強化により JCC のグローバル展開の促進を図ることを目的に、GCC に参画しセミナー等での発信を行った。

- ・創設メンバー：16 개국 17 団体
- ・コミュニケーション委員会に参画、ワークセッションへの参加
- ・GCC ウェビナー JCC 登壇 (6 月 23 日) 参加者 122 名
- ・GCC オンライン総会 (10 月 13 日) 18 ヶ国 20 クラスターによる合同会議

(2) 産学連携事業

フランスとの連携による国際的な研究者ネットワークの構築、産学連携のマッチングを図るためにセミナー等を実施した。

- ・日仏研究交流 CNRS オンラインカンファレンス (9 月 30 日)
参加者：仏 CNRS 2 名、研究チーム 15 チーム、日 研究者 6 名
- ・共同研究 2 件 (九州大学、佐賀大学)
- ・ハイブリッド型第 7 回産学交流セミナー (3 月 4 日) 参加者 64 名 (会場 3 名)

(3) 人材育成事業

産業人材の輩出強化を目的に、人材育成の体制を整備するため、支援会員 (大学) 及び会員企業と連携し、講座等を実施した。

- ・唐津南高校 3 年生向け課題研究を支援：マスクスプレー作成、販売
- ・唐津南高校 1 年生向けマーケティング授業実施 (12 月 3 日、10 日、17 日)

(4) 相談対応・支援ネットワーク事業

会員企業及び地域産業のビジネスに関する課題や検討項目に対し、相談対応及び支援を行った。

- ・事業開発、相談対応などを目的とした「ナレッジネットワーク」仕組みの構築
- ・セミナー 主催2件、共催6件
 - ・第1回 JCC オンラインセミナー (5月15日) 参加39名
「ヘルスケアビジネスのマーケティング戦略～ポスト・コロナに向けて～」
株式会社ヘルスケア・ビジネスナレッジ 代表取締役社長 西根 英一氏
 - ・第2回 JCC オンラインセミナー (7月3日) 参加11名
「これからの事業計画・マーケティングのヒント」
スプリングビューティ株式会社 代表取締役 泉 哲哉氏
 - ・【共催】 ジャパンメイド・ビューティ研究会 (5月27日) 参加者40名
 - ・【共催】 九州経済産業局 SDGs セミナー 計5回

(5) 企業立地及び起業支援事業

国内外企業の投資に関する有力案件の発掘及び進出企業への支援を図ることに
より本地域の産業集積を促進した。

- ・化粧品関連企業1,500社アンケートを実施(期間:5月12日～6月24日)
- ・新規の誘致案件の創出(リストアップ、企業訪問)33社
- ・進出実績 3件、 起業創業実績 1件

(6) 佐賀県コスメ創業・成長支援事業(佐賀県委託)

世界で通用するスタートアップ企業を創出することにより、佐賀の地域資源を活用した新たなビジネスを活発化させた。

- ・佐賀県委託「佐賀県コスメ創業・成長支援」事業として実施。
- ・SAGAN BEAUTY & HEALTHCARE OPEN ACCELERATOR 2020の実施
佐賀県内企業4社×スタートアップ10社の協業支援を実施
- ・オンラインセミナー
「コスメ領域におけるスタートアップ業界の今」(2月17日)
株式会社アイスタイル 矢野貴久子氏／ 参加者22名

(7) 唐津市インキュベーション事業 (唐津市委託)

JCC が所有する社会関係資本を活かし、デザイン思考による起業家育成プログラムを実施することにより、地方創生に資するビジネス開発と唐津市における起業家創出の場を作った。

- ・ハイブリッド型セミナー「しっかり稼ぐビジネスデザインとは」
(11月17日、18日、27日 計3回) / 参加者14名
講師：九州大学大学院 教授 清須美 匡洋 氏
- ・個別メンタリング 3社×2回実施
- ・ハイブリッド型セミナー「唐津×コスメ×起業セミナー」(3月19日)
参加者 26名 (うち会場7名)

4 地域ブランド事業

(1) 情報発信事業

JCC の認知度向上、活動の可視化を目的に、取組成果や会員企業、地域の魅力を、多様な媒体を活用し国内外に発信した。

- ・WEB 情報発信業務 WEB マガジンの発行 (1月~3月隔週月曜 計7回)
- ・ファムトリップ事業⇒コロナの影響により中止
- ・ショーケース事業：
JCC が関与し開発された商品、九州コスメ商品を紹介・発信
来場者数 1,414名 (うち視察218名) / 取扱商品 197アイテム (32社)
- ・メディア記事掲載 30件
メールマガジンの発行 57件 (配信アドレス数 925件)
プレスリリースの発出 地元向け5回、ネットニュース 1回

(2) HanaMarche 事業

会員企業、地域事業者及び生活者との交流とPRの場を創出することを目的に2017年度より実施。今年度より事業内容の拡充に伴い実行委員会形式により実施。

- ・2020年度 HanaMarche (5月2日、3日) ⇒コロナの影響により中止
- ・オンライン：SNS で出展 (予定) 者の情報を発信

Facebook 68 件、Instagram 196 件、Youtube 13 件、Note 13 件 計 290 件

SNS フォロワー数： Facebook 503、Instagram 805、Youtube 117

(3) JCC 原料開発室運営事業

地産素材を活用した原料の開発支援や相談対応を通じて、地域素材の活用と地域発原料供給を促進した。

①原料化支援サービス（地産素材の活用及びJCC 会員企業支援）

素材活用相談対応 3 件（ツバキ種子、レモン搾汁残渣、ホーリーバジル）

②JCC 開発室活動

- ・原料供給事業（化粧品原料、化粧品原料中間体製造）

JCC 開発室において、化粧品原料中間体等製造し供給した。

- ・地産素材収集とサンプル製造：43 品目、284 サンプル

(4) JCC テスト圃場「Toco Waka Farm」運営事業

耕作放棄地を活用し、化粧品原料として使用される農作物を地元団体と連携し試験栽培し、「観る」「体験する」農園として整備、企業視察受入れ、情報発信会場として活用した。

(5) 玄海プロジェクト

コスメティック構想における地域における産地化の促進を図るため、玄海町薬用植物栽培研究所を中心とした、特色ある原材料の栽培、また安定供給のための団体設立に取り組んだ。

- ・玄海町産素材を活用した化粧品 2 ブランド発売決定（来年度発売開始）

（素材：ホーリーバジル、ダルマガク）

- ・町内において加工部門、精油量産化が町内企業によって確立

- ・薬草啓もう事業 7 回実施

- ・薬草事業のセールスコンテンツ整備：リーフレット作成

(6) 唐津市コスメ地域商品開発及び販路開拓事業（唐津市委託）

唐津市からの業務委託により、地産素材を使用した競争力のある原料の開発、素材栽培の拡大による産地化を図った。漁業衰退の背景もあり、コスメによる第一次産業の活性化を目指し、団体設立を行い、島住民とともに、特色ある原材料の栽培、

また安定供給を目指した。

- ・唐津産素材を活用した化粧品 5 ブランド発売決定
- ・企業視察 20 社
- ・唐津 7 つの離島、加唐島からの椿の収穫 4 t
- ・離島の耕作放棄地にて JAS 認証取得、コスメの原料栽培を実施
- ・商品コスモス認証取得
- ・農福連携仕組み構築：福祉（太陽社）と連携した原料の量産化
- ・視察企業によるコスメづくり体験の実施、情報発信：15 件

5 専門人材配置事業

(1) 専門人材配置

当会活動を効果的・効率的に進めるため、専門人材を配置して業務を遂行した。

【専門人材体制：2021 年 3 月末時点】

10 名（うち市委託事業による採用者：1 名、県委託事業による採用者：1 名）

- ・事務局長：1 名（佐賀銀行より出向）
- ・インキュベーションマネージャー：1 名
- ・チーフコーディネーター：2 名
（原料開発担当 1 名、産学連携担当 1 名）
- ・コーディネーター等：4 名
（国際 1 名、製販 1 名、地域 2 名）
- ・コスメ原料開発室オペレーター：1 名
- ・ショーケース担当者：1 名

6 会員の状況

(1) 2020 年 3 月 31 日時点

正会員 175 名
支援会員 26 名
計 201 名

(2) 2021 年 3 月 31 日時点

正会員 147 名（継続 139 名、新規入会 8 名）
支援会員 26 名（継続 26 名）
計 173 名（継続 165 名、新規入会 8 名）